



# 2024年 5月期 第2四半期 決算説明会

2024年1月12日

証券コード:7725

※本決算説明会の内容につきまして、ご参加される方による  
録音、録画はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

# Agenda

---

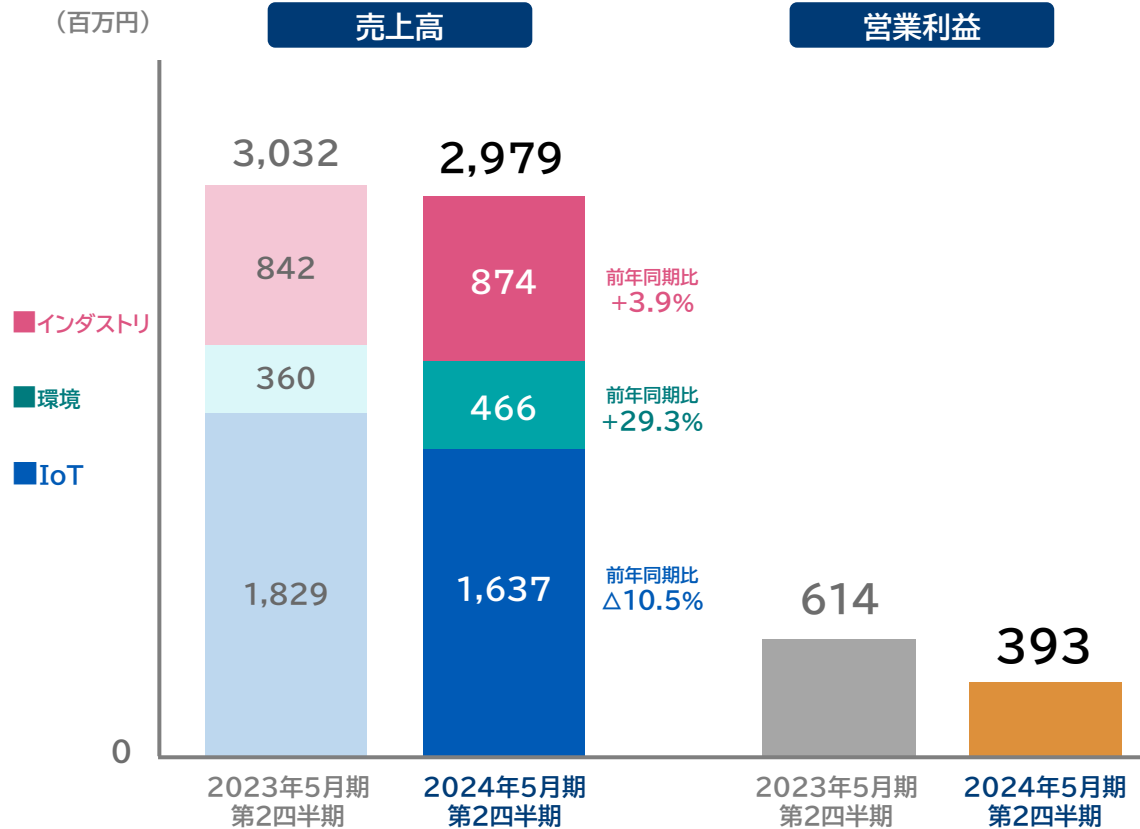
1. 業績サマリー
2. 各事業の進捗について
  - － IoT関連事業(イメージセンサ検査ビジネス)
  - － レーザ事業
  - － AI画像処理装置事業
  - － 振動ソリューション事業

-Appendix-

# 業績サマリー

## POINT

- 主に、IoT関連事業セグメントが低調に推移し、連結業績は前年同期比で減収減益となった。
- IoT関連事業セグメント:収益性の高い海外顧客向け検査用光源装置の販売が低調に推移。今後、新型光源装置の販売に伴い収益性は徐々に改善していく想定。
- 環境エネルギー事業セグメント:乾燥脱臭装置分野において、価額の高い装置本体の販売及び収益性の高いメンテナンス案件の販売が好調に推移。
- インダストリー4.0推進事業セグメント:精密除振装置の販売は好調に推移したものの、歯車試験機の販売が低調に推移。長崎開発センター開設に伴い、研究開発費等も発生。
- 当連結会計年度では下期偏重の予算編成となっており、当第2四半期においては概ね予算通り堅調に進捗している。

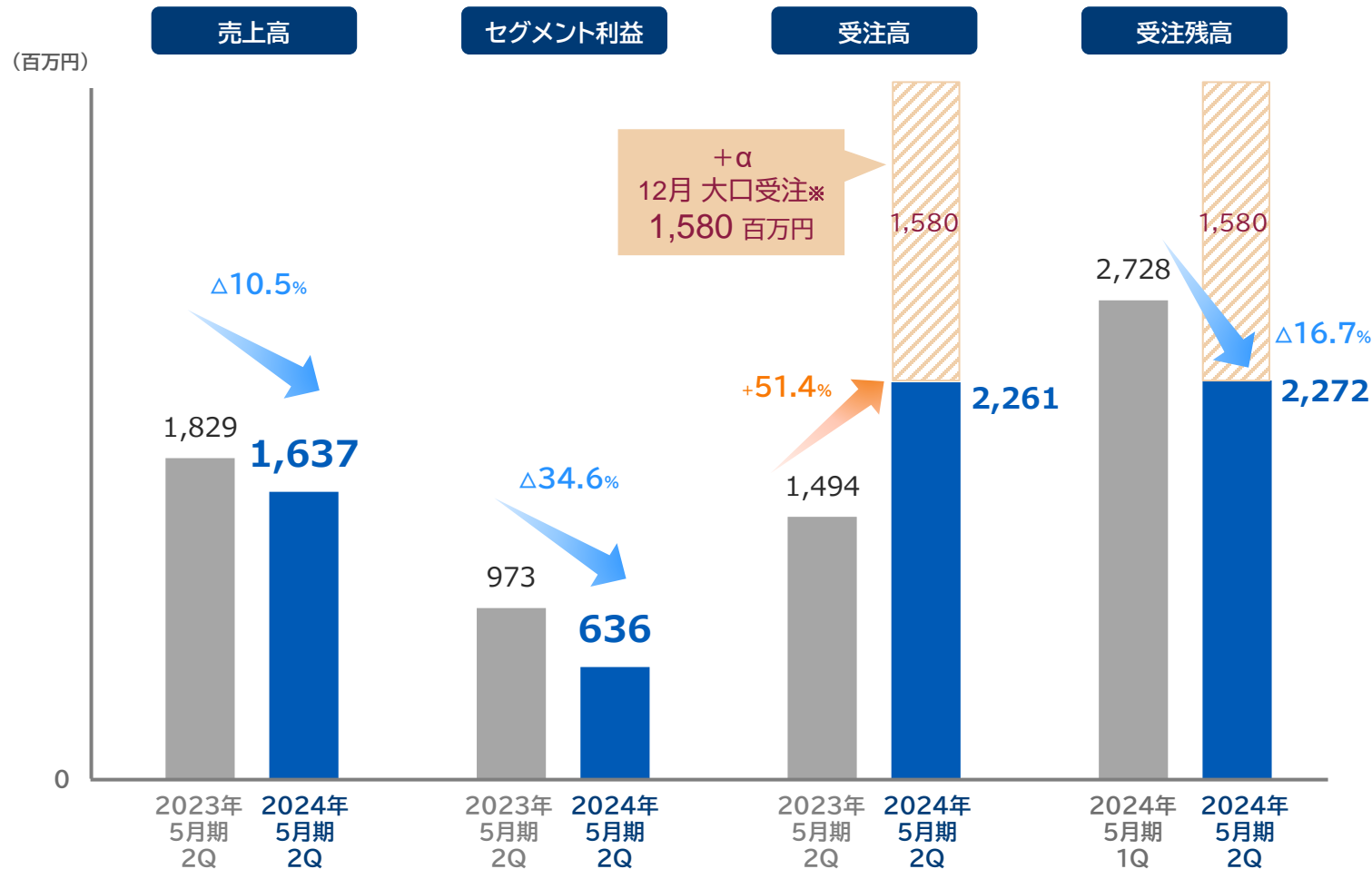


## 主要な経営指標の推移

(百万円)	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比 増減率 (%)
売上高	3,032	2,979	△1.8
営業利益	614	393	△36.0
経常利益	660	439	△33.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	429	269	△37.1
1株当たり 四半期純利益	39.42円	24.83円	-

## IoT関連事業セグメント

減収減益 となったものの、国内顧客を中心として設備投資需要は堅調に推移



※12月度受注のため、1,580百万円 は第3四半期に受注高へ計上

➤ 国内顧客における設備投資需要は、顧客側の中長期的な生産能力増強の動きに伴い、第1四半期に引き続き堅調に推移。  
また、当第2四半期には受注高へ計上されないものの、新型光源装置の追加受注(大口受注)を獲得。

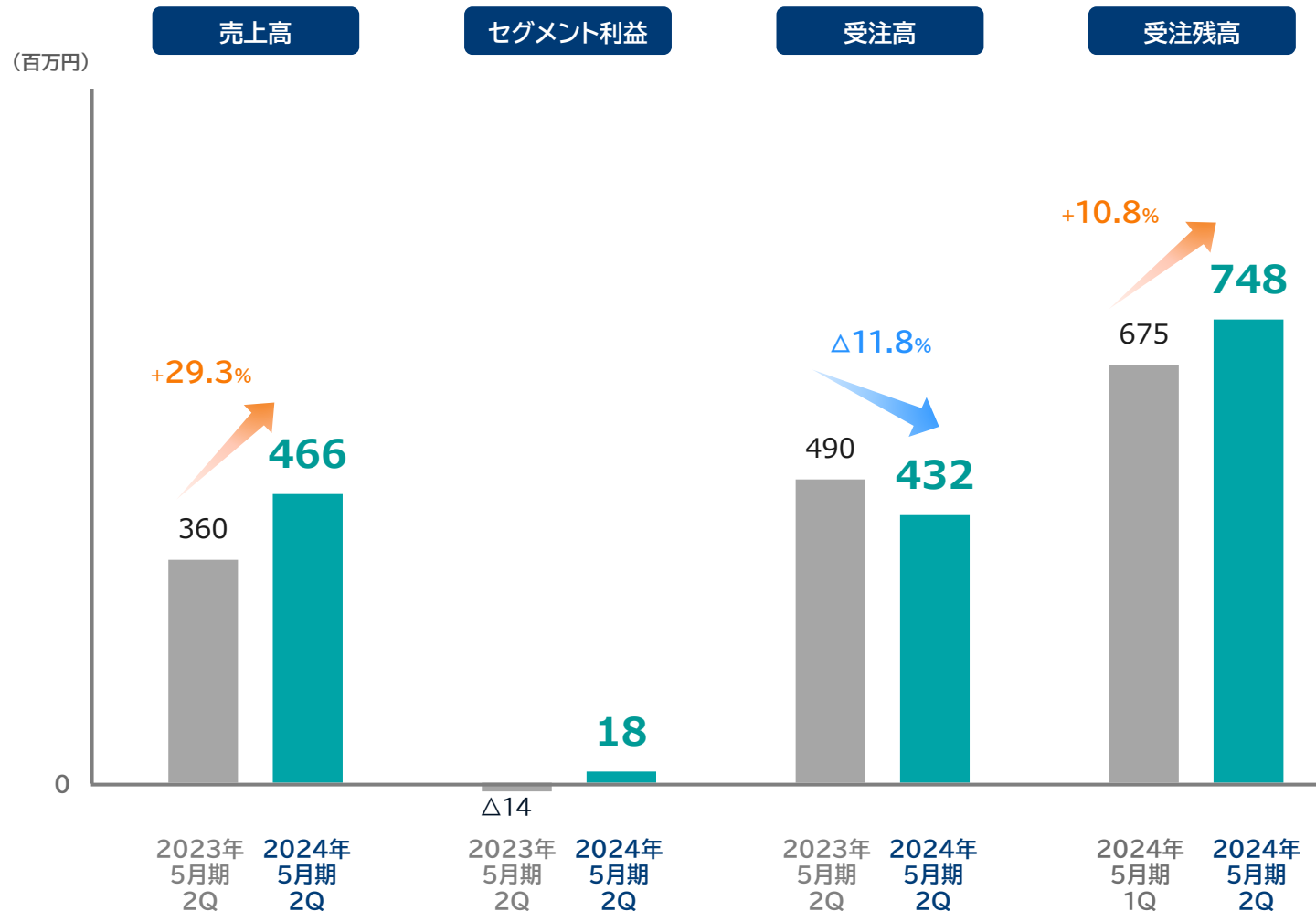
➤ 海外顧客については、第1四半期引き続きスマートフォンの需要停滞等に伴い、設備投資に対して消極的な状況。さらに、顧客側において設備投資をコントロールしている重役の人事異動等により、投資は一時的により慎重になっている。

➤ イメージセンサ市場は2024年を起点として徐々に回復想定  
➤ 海外顧客向け瞳モジュールは開発機向けから徐々に量産機導入へシフト。スマートフォン等の最終アプリケーションの需要回復に伴い、徐々に導入数は増加していくと予想。

補足

# 環境エネルギー事業セグメント

乾燥脱臭装置分野を中心に需要が堅調に推移し 増収増益



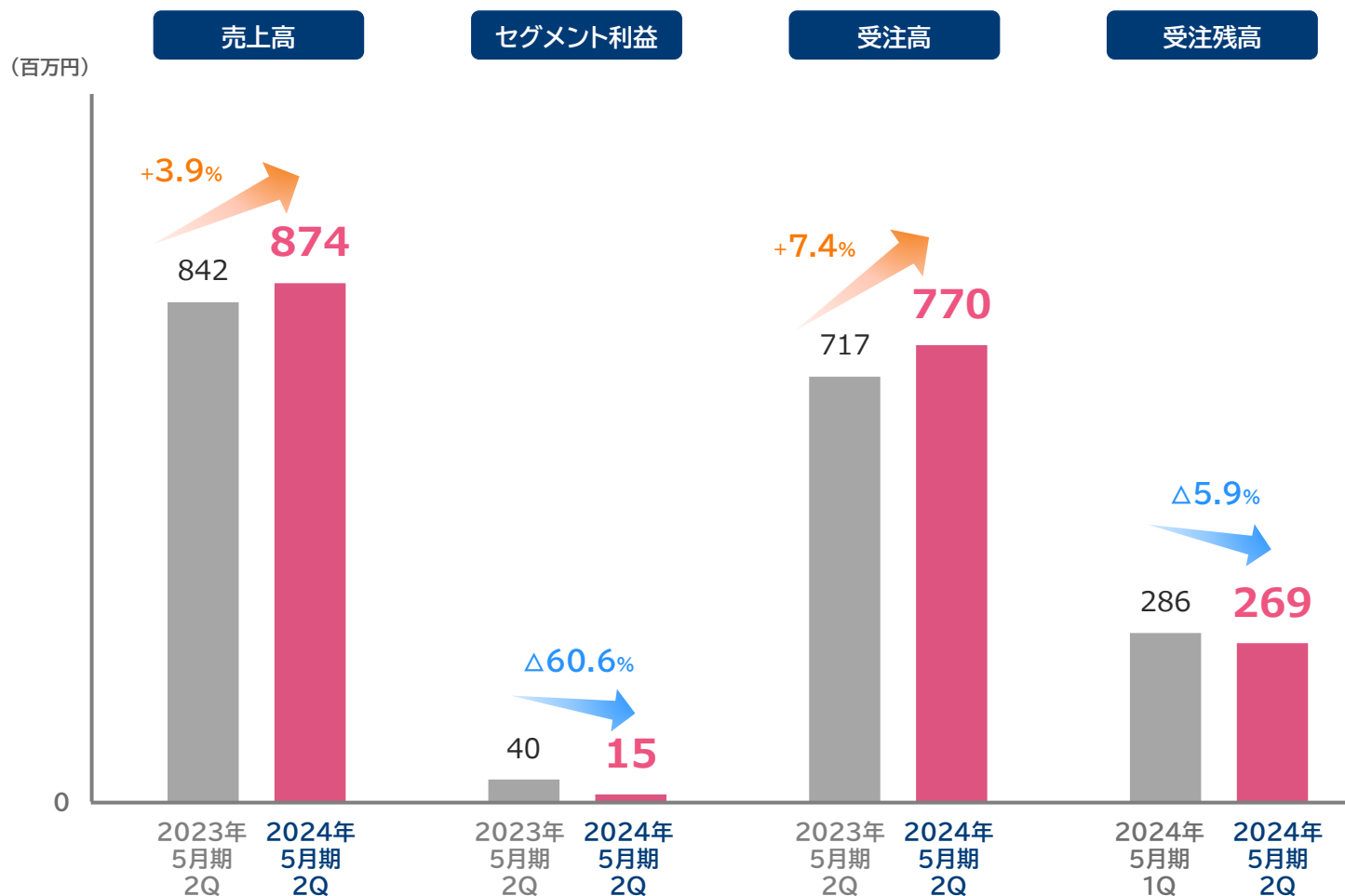
- +
- 乾燥脱臭装置分野において、価額の高い装置本体の販売及び収益性の高いメンテナンス案件の販売が好調に推移。
  - 排ガス処理装置分野においても大型装置の引き合いあり。

- 
- 部材不足等によるコスト増と納期の長期化については引き続き発生しており、特に制御装置(タッチパネル等)の納期が不安定な状況。

- 補足
- 新規製品のAEセンサ(故障予測センサ)の社内テストが完了し、客先への導入作業中。
  - AEセンサは乾燥脱臭装置や排ガス処理装置以外の分野にも応用できる可能性あり。

# インダストリー4.0推進事業セグメント

売上高増 だが、新規事業に係る研究開発費等によって 増収減益



➢ 精密除振装置において、海外営業部隊の営業努力により、海外向け精密除振装置の販売が好調に推移。

➢ 中国全体における不況の影響により、歯車試験機の販売は、第1四半期に引き続き低調に推移。

- 振動モニタリングアプリ付きの除振装置を国内顧客へ納入済み。顧客側から評価されれば、継続的な需要が発生する可能性。海外顧客への展開も実施中。
- AI画像処理装置において新規受注を獲得。半導体メーカーへの導入も引き続き検証中。
- レーザ事業において、SiCウエハダイシング装置を2024年12月にリリース予定。

補足

# 各事業の進捗について



# IoT関連事業(イメージセンサ検査ビジネス)

# High-end領域について(1/2 主要顧客)

技術革新によって業界内でのリーダーシップを発揮し、提供価値の向上とさらなるシェア獲得を図る。

## 国内主要顧客 既存

## 海外主要顧客 既存

設備投資  
(顧客側)

モバイル向けイメージセンサのシェア拡大に伴い、  
今後1年程度は堅調に推移する見込み

市況の悪化等※に伴って慎重に推移しており、  
今後1年程度は動向が不透明な状態

競争動向

従来の競争は撤退傾向

競争なし

光源装置

瞳モジュール®

光源装置

瞳モジュール®

効率性と正確性を向上させた新型装置の訴求によって、競争からシェアを奪還することに成功。  
新規受注に関してはシェア100%を確保済み

発注額は短期的に増加傾向にあるものの、シェア50%前後を横這いで推移

—

—

今後の  
戦略

- **新型光源装置を中心とした導入**を継続
- 既に導入済みの旧光源装置に対して**当社独自の機能を追加する改造案件を提案**  
(2024年4月頃から順次導入予定。総取引額は20億円程度と推定)

- 精度向上に向けた研究開発や自動機の導入等、**製品価値向上**のための取り組みを強化

- **従来装置の提供**を継続
- **次世代装置の開発**を検討
- 受注済み案件(車載/センシング向け)へ対応

- **パートナー企業との協働**を継続  
共同開発品は2024年5月頃に完成予定
- **徐々に量産機導入へシフト**  
(今期中に開始予定)  
低~中精度モデル:2024年1月頃  
高精度モデル:2024年4月頃に完成予定

※ 顧客側において設備投資をコントロールしている重役の人事異動により、投資は一時的により慎重になっている

## High-end領域について(2/2 その他顧客)

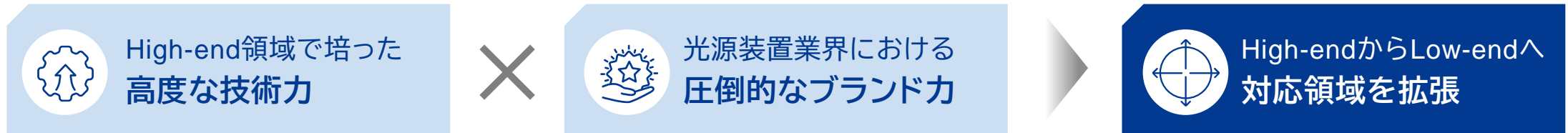
顧客のニーズに合った適切な装置を提案。米国では、車載向けセンサに強みを持つ顧客向けに新規での導入を目指す。

	欧州/ヨーロッパ顧客 <span>既存</span>	中国顧客 <span>既存</span>	米国顧客 <span>新規</span>
設備投資 (顧客側)	車載向け（センシング向け）を中心に 堅調に推移	積極的である一方、High-endイメージ センサを新規製造している段階のため、 時間を要する印象	積極的である一方、 IAからの販売実績はない
競合動向	Low-end検査装置を 内製している可能性あり	競合なし	安価な光源装置メーカーが競合に該当
今後の 戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 当社の<b>技術優位性</b>によって<b>IA装置の受注を図る</b></li> <li>■ 引合案件(車載向け光源装置、後工程用光源検査装置、改造案件等)へ対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>従来装置の提供</b>を継続</li> <li>■ <b>次世代装置の開発</b>を検討</li> <li>■ 受注済み案件(車載/センシング向け)へ対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ パートナー企業と協力しながら<b>デモ機の導入を目指す</b>(Low-endモデルから開始) まずは、車載向け光源装置のデモ機を2024年6月頃に先方へ持込予定</li> </ul>

## Low-end領域について(1/2 全体感)

Low-endイメージセンサーメーカーに向けたロースペック光源装置を開発・販売。スペックと価格を顧客が求めるレベルまで下げることで、新規顧客の大幅開拓を目指す。

### 全体方針



### アクションプラン ※各Phaseの詳細は次頁に記載

	2024年5月期		2025年5月期		2026年5月期		2027年5月期	
	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
顧客へのヒアリング	■							
最終ジャッジ	■							
Phase 1		■	■					
Phase 2			■	■	■			
プロモーション・営業活動			■	■	■			
量産体制の確立・拡販体制の強化				■	■			
Phase 3					■	■	■	

## Low-end領域について(2/2 開発・販売ステップ)

戦略的メリットと収益的デメリットのバランスを取りながら、3段階で開発・販売を進行。High-end領域と同様に、業界内のリーディングカンパニーとしてシェア100%の獲得を目指す。

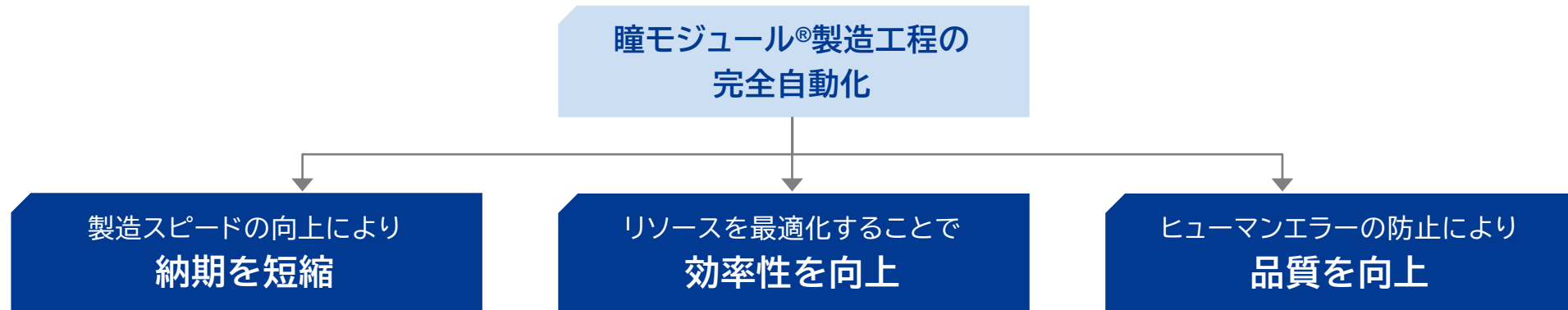
### Low-end光源の開発・販売ステップ



# 瞳モジュール®製造自動化プロジェクト

瞳モジュール®自動製造機の導入によって短納期・高効率・高品質を実現し、顧客への提供価値を向上。

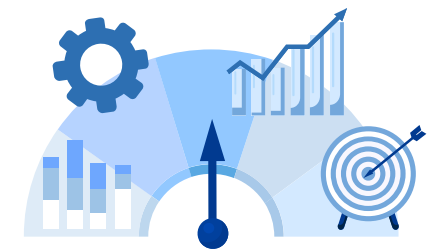
## 概要



## プロジェクトスケジュール

対応事項	2024年5月期	2025年5月期		2026年5月期	
	下期	上期	下期	上期	下期
クリーンルームの改修			移設・立上		
装置の整備		段階的に実施			立上・調整
各装置の調整					
改善・運用				試験運用	本格稼働

生産性向上による  
事業基盤の強化



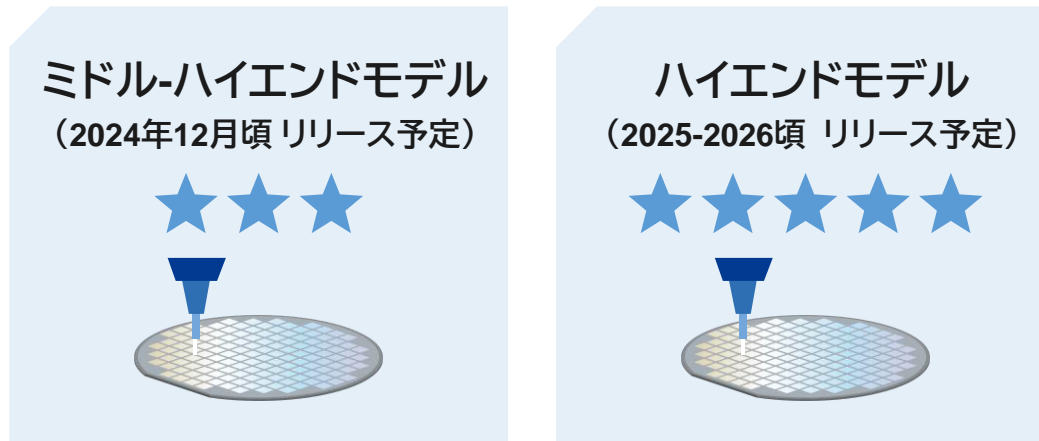
# レーザー事業

## レーザ事業(1/2 SiCウエハダイシング向け)

パワー半導体製造におけるSiCウエハダイシング工程に向けて、数種類のレーザダイシング装置を開発中。  
1機種については2024年中にリリース予定。また別モデルの開発も行い、多種多様なニーズへの対応で高成長を見込む。

### 現状と今後の方針

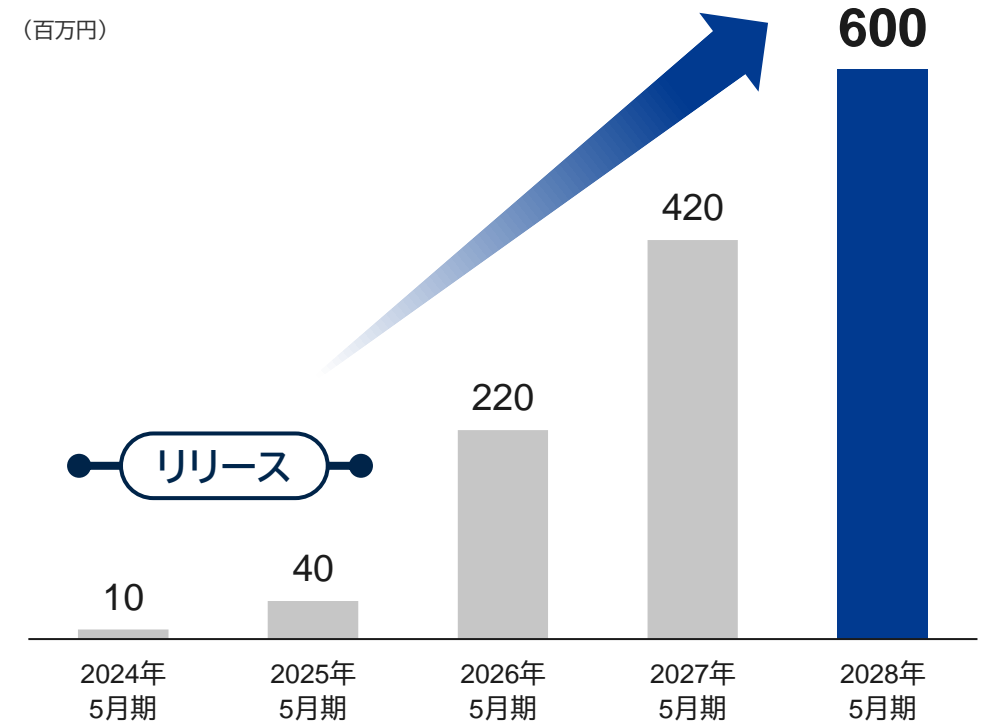
異なる技術を活用した  
数種類のダイシング装置を開発中



半導体メーカー各社のニーズへの対応と  
パワー半導体の進化を睨み、ラインナップを拡充していく

### 想定売上高

リリース後は、  
CAGR 178%の高成長を想定





## レーザ事業(2/2 その他工程向け)

ウエハダイシング以外の工程にも参入すべく、5つの研究開発プロジェクトが同時進行中。

### ■ 装置化ポートフォリオ

工程の進化に対応、牽引する装置のリリース

1

SiC対応  
レーザダイシング



2

3

4

5

研究開発中  
(進捗状況に応じて公開予定)

レーザでのカットにより、カーフと呼ばれる切りしろを可能な限り狭くすることで、1枚のウエハからより多くのダイ(チップ)を取り出せる性能を目指す

# AI画像処理装置事業

# AI画像処理装置事業(半導体市場向け)

歯車向け事業で培ってきたAI画像処理技術を、高付加価値・高単価な半導体検査に活用するため、今期より開発を開始。引き続き参入市場の多角化を図り、2028年までに数億円規模の売上高創出を目指す。

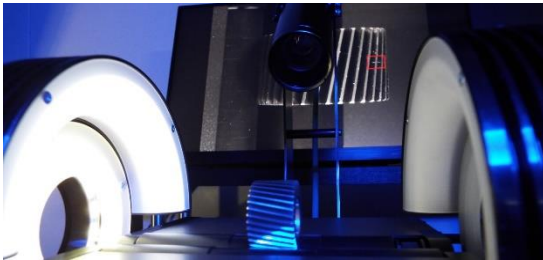
進捗中

Step 1  
歯車検査の進化

Step 2  
半導体検査への応用

Step 3  
別工程への参入

## FA画像処理装置の製品化



- 研究開発を通して、精度・効率ともに大幅に向上
- 拡販活動を継続中

## 半導体向け装置の開発

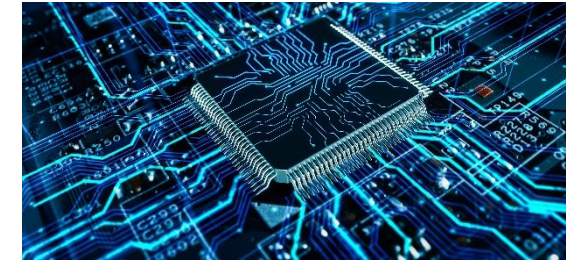


- 半導体製造装置メーカーからの引合を獲得済み
- 顧客と連携しながら研究開発を進行中

### 想定スケジュール

2023年11月	顧客へのヒアリング(済)
2024年1月頃	デモ機導入
2024年6月頃	評価判定
2024年10月頃	量産機受注
2025年9月頃	量産機導入(客先での運用を開始)

## あらゆる半導体検査への応用



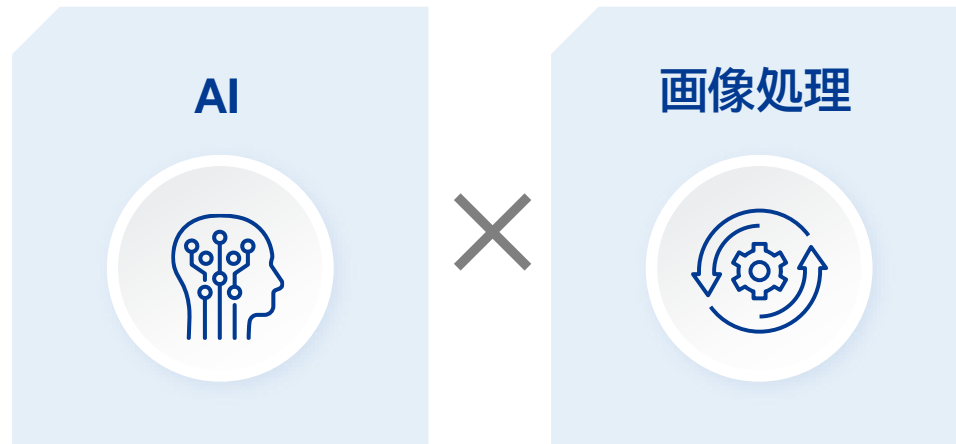
- 当社独自の撮像技術とAI技術で事業拡大を図る

# AI画像処理装置事業(次世代工場市場向け)

AIと当社独自の画像処理技術を掛け合わせることで、次世代工場における生産性の向上をサポート。  
選択と集中を図りながら、今期中に1億円の受注を目指す。

## 事業概要

家電メーカーや楽器メーカー向けに、  
製品の欠陥を”見える化”



顧客の生産性向上に寄与

## 現状と今後の方針

引合過多により社内リソースが不足しており、  
案件ごとのリードタイムが長期化傾向

顧客/案件の選択と集中によって、  
事業の進化と収益性の向上を図る

### 想定スケジュール

2023年12月末頃	大手家電メーカーへデモ機を立ち上げ
2024年3月頃	大手楽器メーカーより受注予定
2024年4月頃	歯車メーカーより受注予定
2024年7月頃	大手家電メーカーより受注予定(2号機目)

# 振動ソリューション事業

# 振動ソリューション事業

既存のモニタリングアプリの導入に加え、AIを活用して最適な除振環境を構築できるソリューションも開発する予定。将来的には両者を同時に提案することで、スピード感のある事業拡大を目指す。

## 事業概要

アプリの活用によって、  
振動を“見える化” + “有効活用”



顧客の生産性向上に寄与

## 現状と今後の方針

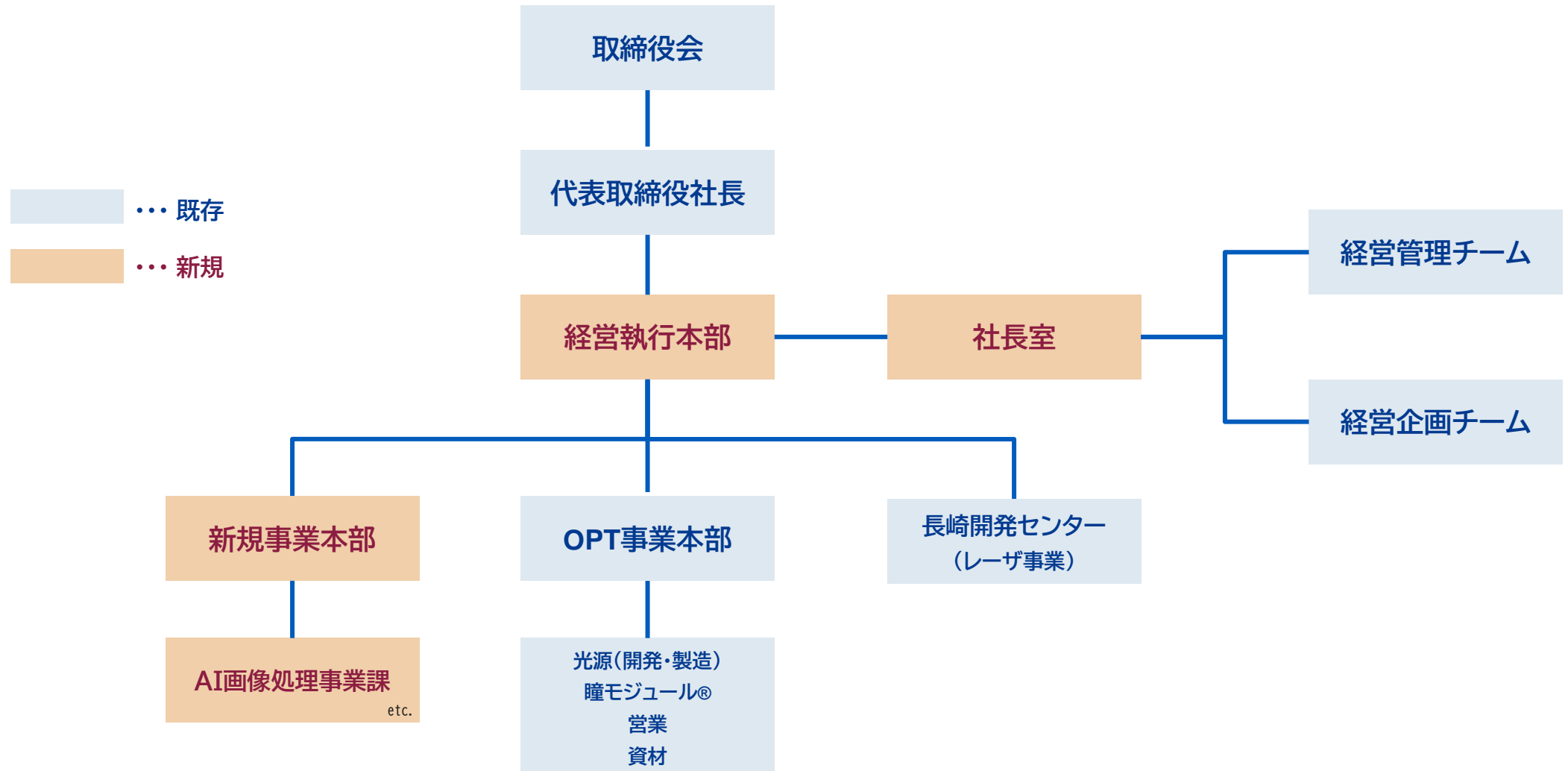
中国の有機EL製造メーカーから引合を受け、  
試作機の導入を完了



2024年4月には、韓国企業へデモ機4台を導入予定。  
新モニタリングアプリは、当期第3四半期頃から  
段階的に導入する見込み

# 組織体制の強化

各事業を牽引するリーダー層の採用を実施。新たに「経営執行本部」「社長室」「新規事業本部」等を設置し経営基盤の強化を図る。



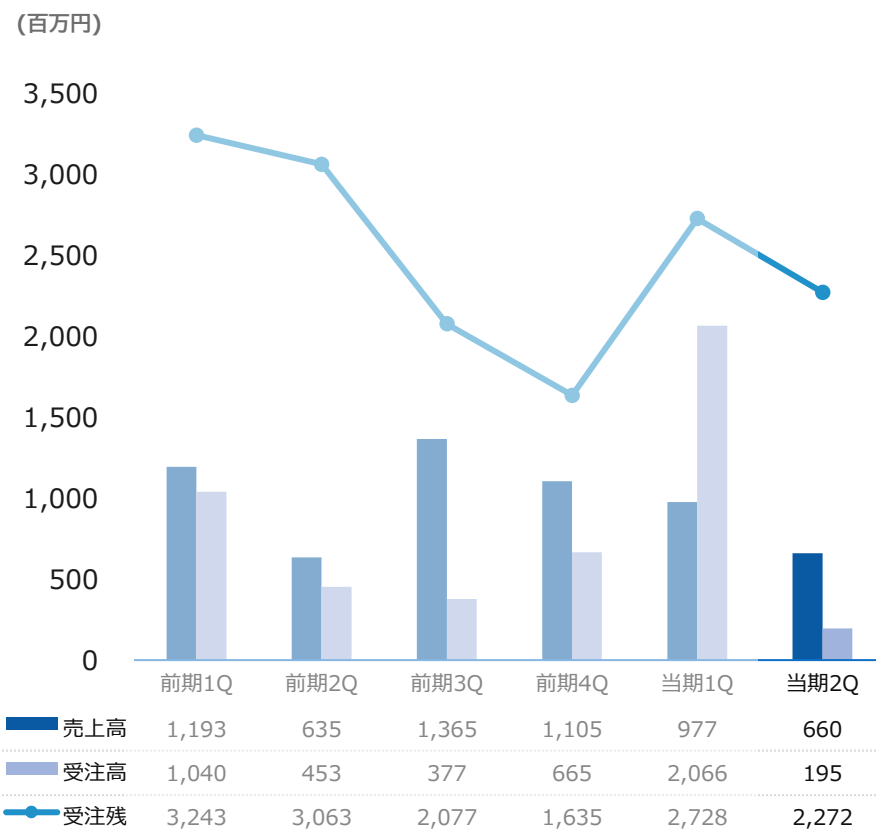


## Appendix ①

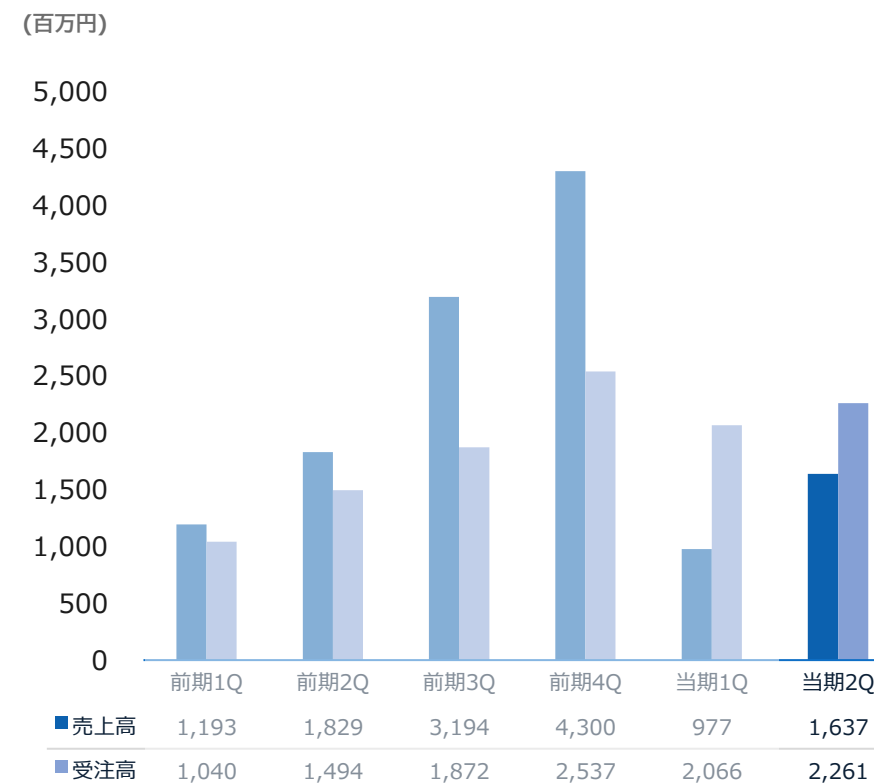
売上高・受注高・受注残高 推移

## IoT関連事業セグメント

売上高・受注高・受注残高 推移（四半期毎）

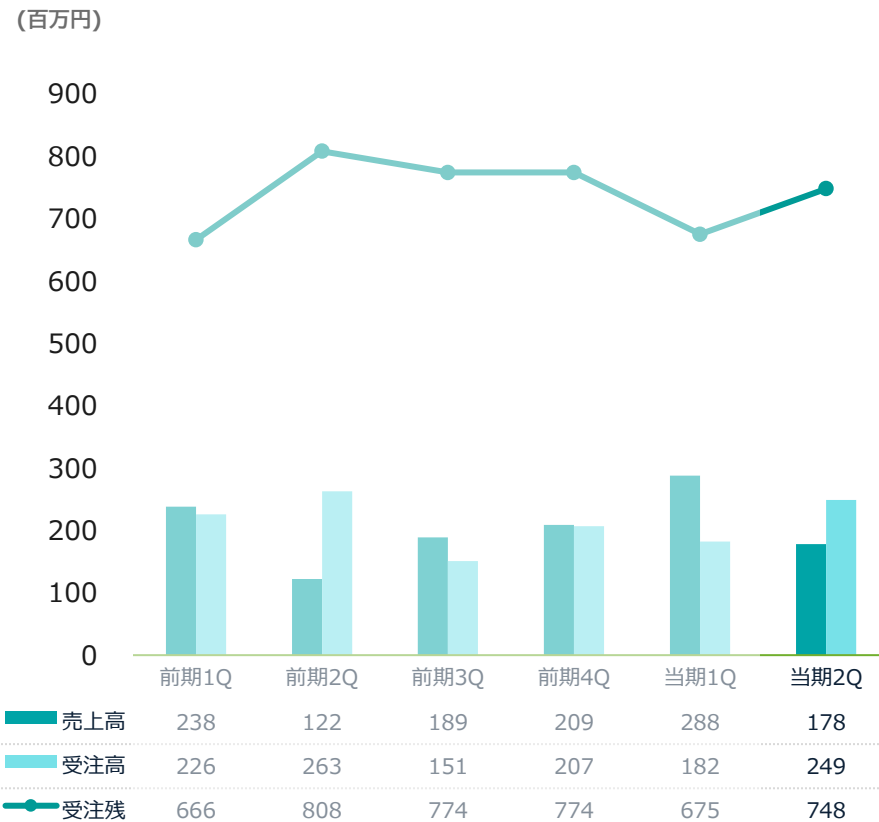


売上高・受注高 推移（累計）

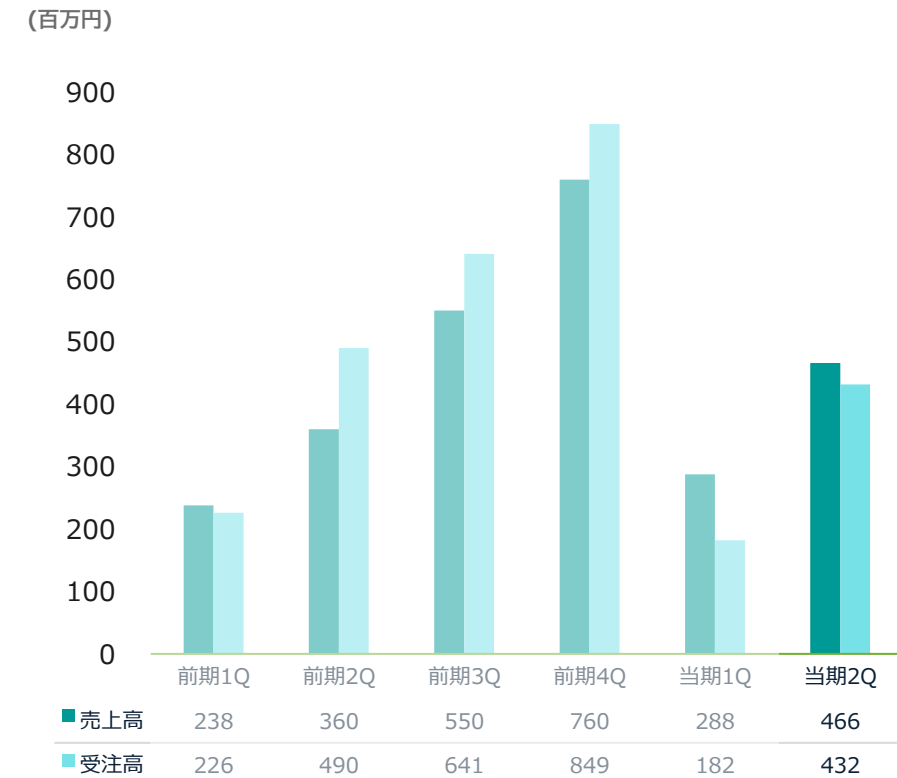


# 環境エネルギー事業セグメント

## 売上高・受注高・受注残高 推移（四半期毎）

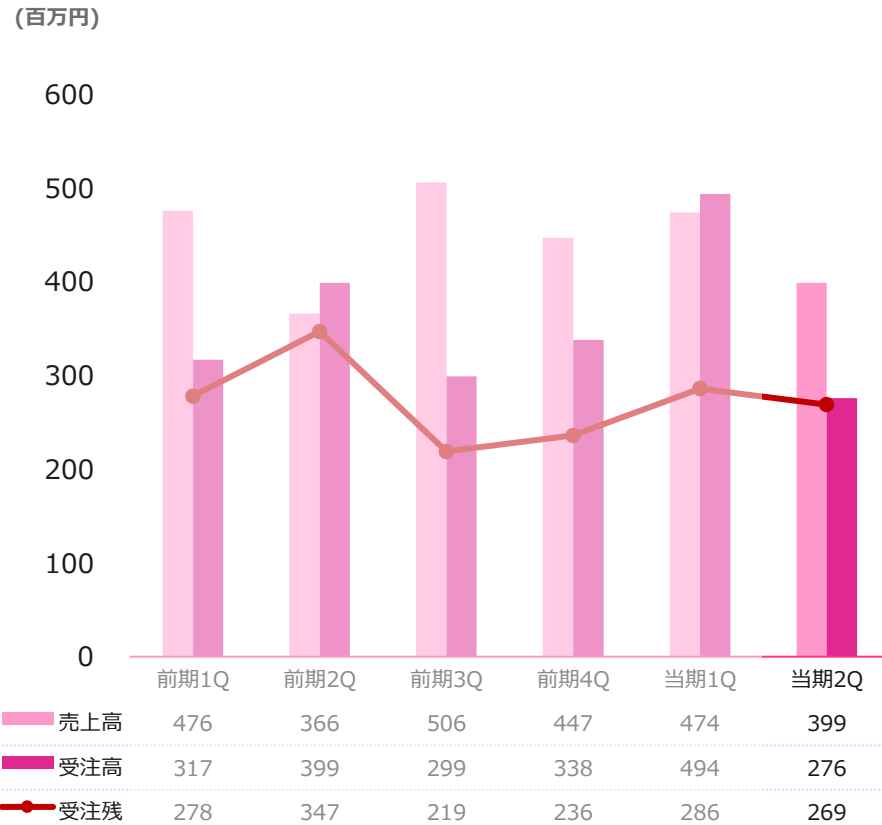


## 売上高・受注高 推移（累計）

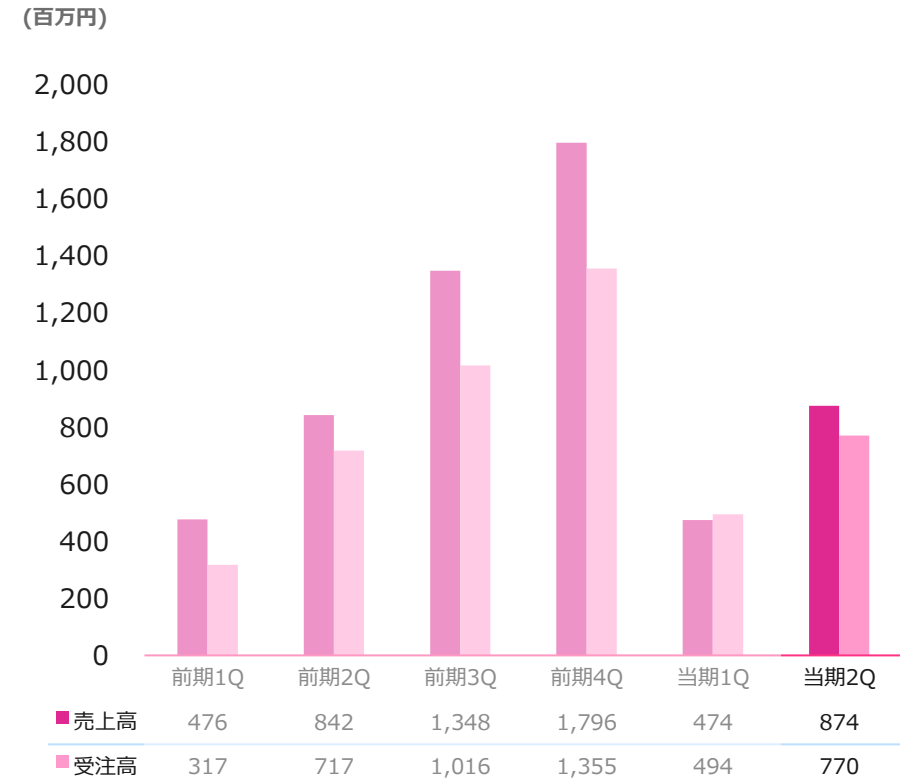


# インダストリー4.0推進事業セグメント

売上高・受注高・受注残高 推移（四半期毎）



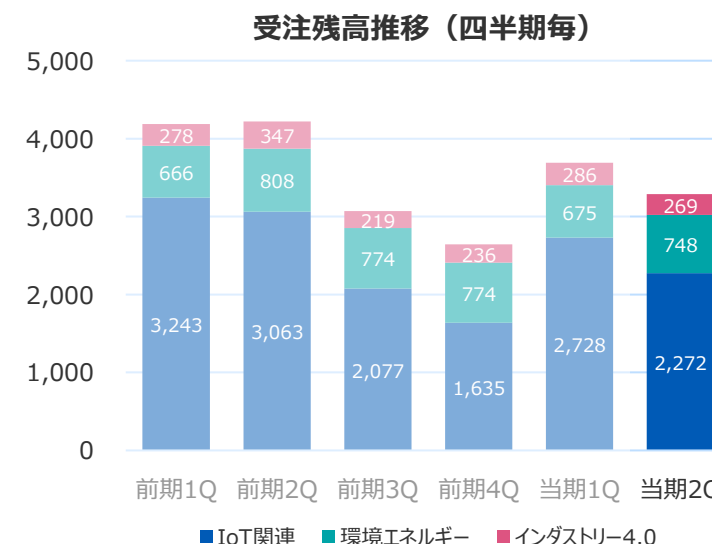
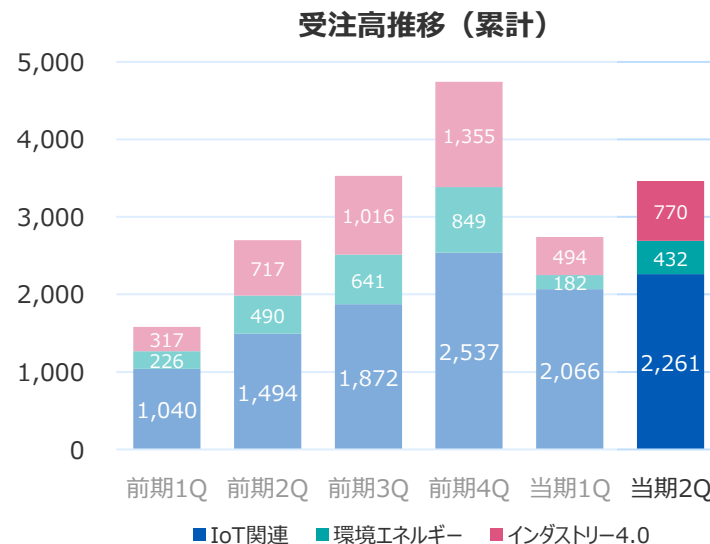
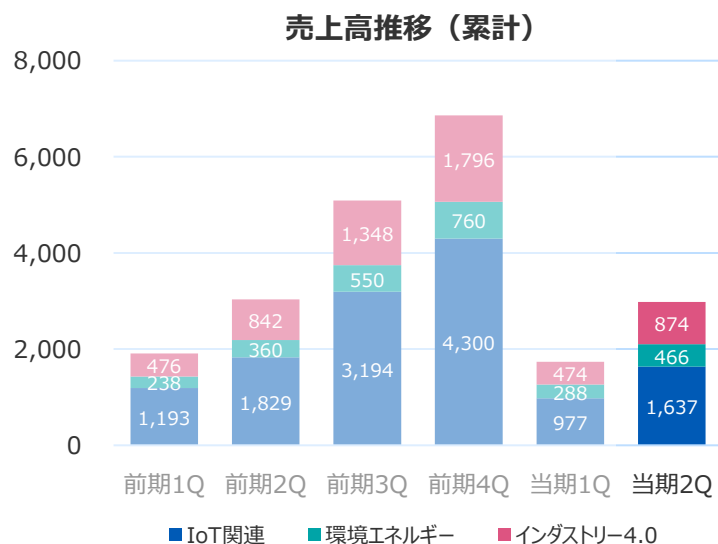
売上高・受注高 推移（累計）



2024年5月期第2四半期

(単位：百万円)

事業セグメント	売上高		受注高		受注残高	
	金額	前年同期比 増減率	金額	前年同期比 増減率	金額	前年同期比 増減率
IoT関連事業	1,637	△10.5%	2,261	51.4%	2,272	△25.8%
環境エネルギー事業	466	29.3%	432	△11.8%	748	△7.4%
インダストリー4.0推進事業	874	3.9%	770	7.4%	269	△22.4%
合計	2,979	△1.8%	3,464	28.2%	3,291	△22.0%



## Appendix ②

### 会社概要

商号	株式会社インターアクション INTER ACTION Corporation	上場市場	東京証券取引所 プライム市場
設立	1992年6月25日	証券コード	7725
代表者	代表取締役社長 木地 伸雄	事業年度	自 6月1日 至 5月31日
資本金	1,760百万円	URL	<a href="https://www.inter-action.co.jp">https://www.inter-action.co.jp</a>
従業員	126名(2023年5月末時点 グループ全体)	グループ会社	株式会社エア・ガシズ・テクノス 明立精機株式会社 株式会社東京テクニカル 西安朝陽光伏科技有限公司 陝西明立精密设备有限公司 MEIRITZ KOREA CO.,LTD Taiwan Tokyo Technical Instruments Corp. TOKYO TECHNICAL INSTRUMENTS (SHANGHAI) CO.,LTD 株式会社ラステック
本社所在地	神奈川県横浜市金沢区福浦1-1 横浜金沢ハイテクセンター14階 TEL:045-788-8373 FAX:045-788-8371		
事業所	横浜市中区・熊本県合志市・長崎県長崎市		

重要指標

Equity Spread  
ROE

配当方針

総還元性向30%

M&A方針

成長分野・今後成長を見込める分野であること  
培ってきた技術や事業のノウハウが、事業展開に活用できる分野であること  
5年間の想定キャッシュ・フローをWACCで割り引いたNPVがプラスになること



## メール配信サービス

---

インターアクショングループに関する様々な情報をメールでお届けします

当社HP「メール配信サービス」画面

[https://www.inter-action.co.jp/ir/ir\\_mail/](https://www.inter-action.co.jp/ir/ir_mail/)

ご登録いただきました情報は、IRメール配信サービスのみを使用します。  
個人情報の取り扱いにつきましては、当社ホームページに記載しております  
「個人情報保護方針」をご参照下さい

<https://www.inter-action.co.jp/privacy/>

## お問い合わせ

---

株式会社インターアクション  
経営企画室 経営企画グループ IR担当

神奈川県横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル10階  
TEL:045-263-9220

<https://www.inter-action.co.jp/inquiry/>

HPお問い合わせ画面よりお問い合わせ下さい

## 注意事項

本資料に記載されている情報には、将来の業績等に関する見通しが含まれております。これらの見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づいて当社グループにより判断されたものであり、様々な潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の事業領域を取り巻く経済状況、市場の動向等の影響を受けるものであり、記載された見通しと大きく異なる結果となることがあることをご承知置き下さい。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承ください。

事前の承諾なしに本資料に掲載されている内容の複製・転用等を行うことを禁止します。